

(様式5)

遺伝子組換え実験施設拡散防止措置認可願

(西暦) □□年□□月●●日

九州大学総長 殿

部局長 ○○○○研究院長

下記のとおり、実験施設拡散防止措置の認可を願います。

◆施設整理番号

新規設置の場合は、空欄で申請。

変更である場合には、承認を受けた施設整理番号を全て記載すること。

1	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 変更	施設整理番号 : _____	
2	実験施設名	□□□実験室			
3	実験施設設置場所	●●●研究棟△階			
4	実験施設責任者	氏名	九大 太郎	教育訓練受講状況	有
		所属部局	○○○○研究院	職名	教授
	実験施設責任者代理	内線	××××	Eメール	abcd@xxx.kyushu-u.ac.jp
		講状況		職名	助教
5	連絡担当者	所属部局	○○○○研究院	職名	教授
		内線	××××	Eメール	abcd@xxx.kyushu-u.ac.jp
6	稼動予定日	(西暦) ○○年●●月△△日 予定			
7	総面積	○○ m ²			
8	拡散防止措置の区分 (※参照)	微生物実験 :	P 2		
		動物実験 (飼育・処置)			
		動物実験 (処置のみ)			
		すでに認可を受けた「動物実験 (飼育保管施設名) :			
		(施設整理番号) :	(※3参照)		
		(整理番号) :	(※3参照)		
		植物実験 :			
9	対象となる生物	大腸菌、マウス			
10	区分に応じた 拡散防止措置の内容	実験施設概要図のとおり			
11	特記事項	※変更の場合はその内容を記載すること。			

◆実験施設責任者及び代理

実験施設責任者及び代理は遺伝子組換え実験従事者教育訓練を事前に受講する必要があります。

◆拡散防止措置の区分

微生物実験、動物実験及び植物実験それぞれ該当箇所を記載ください。

※1 哺乳類、鳥類、爬虫類に属する動物を取り扱う場合は、別途、動物実験委員会の承認を得ること。

動物実験に関するホームページ : <http://ura.kyushu-u.ac.jp/animal/notice/list.php>

※2 「動物実験 (処置のみ)」の実験室は、以下の条件を満たすときに限り、認可する。

1. 「動物実験 (飼育・処置)」の施設を別途保持していること。
2. その施設は実験時のみ使用し、使用に当たってはねずみ返し等の拡散防止措置を設ける。
3. 飼育 (48時間以上を超える動物の保管) は、行わない。

※3 (施設整理番号) は拡散防止措置認可承認証に、(整理番号) は飼養保管施設設置承認通知にそれぞれ記載の番号を記載すること。

備考

実験施設の拡散防止措置の認定申請に当たっては、実験施設内の概要図 (拡散防止措置の内容等を記載したもの) を添付すること。

以下、委員会記入欄

(審査結果) 当該施設	◆審査結果欄については空欄で問題ありません。
<input type="checkbox"/> 適切と認める。	()
<input type="checkbox"/> 不適当である。	()
	()
遺伝子組換え実験安全委員会委員長	